

# 令和6年度 第59回群馬県高等学校総合体育大会サッカー競技 兼 第67回関東高等学校サッカー大会群馬県予選 要項

- 1 主催 群馬県教育委員会 群馬県高等学校体育連盟 (公社)群馬県サッカー協会
- 2 期 日 令和6年4月27日(土)・29日(祝月)  
5月3日(祝金)・10日(金)・11日(土)・12日(日)
- 3 会 場 アースケア敷島サッカー・ラグビー場 他
- 4 競技規定
  - (1) 2024年度日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
  - (2) 選手は、試合開始前に届け出た交代要員11名中5名まで交代することができる。ただし、選手が脳震盪を起こしたと判断された場合、通常の交代枠とは別に1人まで選手交代を行うことができる。
  - (3) 準々決勝より、交代回数の制限を設ける。
    - ア 選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)
    - イ 前半、ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。
    - ウ 延長戦に入った際、後半に3回の選手交代を行った場合でも、選手交代を1回行うことができる(交代枠が残されている場合に限る)。
    - エ 脳震盪を起こしたと判断された場合の交代は、交代回数の制限にカウントしない。ただし、通常の交代と同時にを行った場合は交代回数にカウントされる。
  - (4) 本大会において退場させられた者は、次の1試合に出場できない。ただし、退場の理由によっては、今大会の以後の試合に出場できない場合がある。
  - (5) ベンチに入ることができる人数は、選手11名(交代要員)および役員5名計16名を最大とする。
  - (6) 本大会で警告を2回うけた者は、次の1試合に出場できない。
  - (7) 落雷時には、別紙「落雷事故防止対策についての対応」による。
- 5 競技方法
  - (1) トーナメント方式による。
  - (2) 試合時間は80分(インターバル10分)とし、勝敗の決しない時はペナルティーキック方式により次回に進出するチームを決定する。ただし、ベスト16(ベスト8決定戦)から、20分の延長を行い、なお決しない時はペナルティーキック方式で勝敗を決定する。
- 6 参加資格
  - (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
  - (2) 選手は群馬県高体連に加盟している高等学校生徒であること。
  - (3) 2024年度(財)日本サッカー協会及び群馬県サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
  - (4) 年齢は平成17年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。なお、出場とは大会や試合エントリーではなく試合出場を指す。
  - (5) チームの構成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
  - (6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
    - ア 部員不足に伴う合同チーム  
原則、全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規定」と全国高等学校体育連盟各競技専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同ガイドライン」に準ずる。
    - イ 統廃合対象校による合同チーム(統廃合完了前の2年間に限る)

なお、「競技別部員不足に伴う複数校合同ガイドライン」は別紙参照。

  - (7)
    - ア 転校後6か月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、群馬県高体連会長の許可があればこの限りでない。
    - イ 高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6ヶ月間は出場できない。
    - ウ 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、この規定ウの適用は当該年度内に限るものとする。

追記事項

ウの移籍とは登録変更(抹消→新規登録)を指す。適用例を以下に示す。

  - 例1. 当該年度内に登録変更を完了した場合  
→登録変更後6ヶ月間は試合に出場できない。ただし、年度を越えて適用しない。
  - 例2. 当該年度末に継続登録をせず、登録を抹消した場合  
→次年度に新規登録完了後すぐに出場できる。
  - エ 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
  - (8) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
  - (9) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
  - (10) 試合開始80分前に、マッチコーディネーションミーティングを行う(準決勝より)。

準々決勝においては簡易ミーティングを行う。

- (11) 各チームの登録選手は、原則として協会発行の選手証を持参しなければならない。但し、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

- 7 出場制限 (1) 1校から複数チームの参加は認めない。  
(2) チームは、監督1名、選手22名以内とし、当日メンバー表記載の選手とする。なお、引率責任者は校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。監督は校長が認める指導者とし、それが「部活動指導員」の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 8 組み合わせ 令和6年4月12日(金) 群馬県公社総合ビル1F 多目的ホール
- 9 備考 (1) ユニフォームについて  
①仕様については日本協会制定の「ユニフォーム規定」による。  
②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。  
③正・副の2色については明確に異なる色とする。  
④主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。  
⑤前項の場合、主審は両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。  
(2) 本大会の上位2チームは、5月25日(土)～5月27日(月)に千葉県で開催される第67回関東高等学校サッカー大会の出場権が得られる。  
(3) 令和5年度群馬県高等学校サッカー新人大会の上位16チームはポジションシードされる。  
(4) 本大会における上位16チームは、令和6年度全国高等学校総合体育大会県予選でシードされるが、プレミアリーグ、プリンスリーグに参加する4校の勝ち上がり状況によってはこの限りではない。プレミアリーグに参加する1校と、プリンスリーグに参加する3校をベスト4シード(順位付けは前年度リーグの結果)とする。その4校を除く上位4チームはベスト8シードとする(ベスト16から出場)。  
(5) 試合球について(マルチボールシステムが望ましい)【モルテン】準決・決勝は協賛ボール1回戦からヴァンタジオを使用。